

■ 本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行っていただく事」を示しています。

- 注意** 人身事故や重大事故を防止するため、下記の事項を必ず確認してください。
- ・悪天候の下や、足元が不安定な状態での取付け作業は行わないでください。
 - ・取付け作業は、作業現場周囲の安全を確保の上、本書に説明した取付け方法に準拠して行ってください。
 - ・梱包箱に同梱されている 取扱いの手引き は、お施主様（本品をご使用される方）に確実にお渡し下さい。

■ 本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体、取付部品セット（コードホルダー、上り止めピース、結束バンド）
標準接続コード（5m）、電気工事マニュアル、取扱いの手引き、本体取付マニュアル

■ その他の梱包

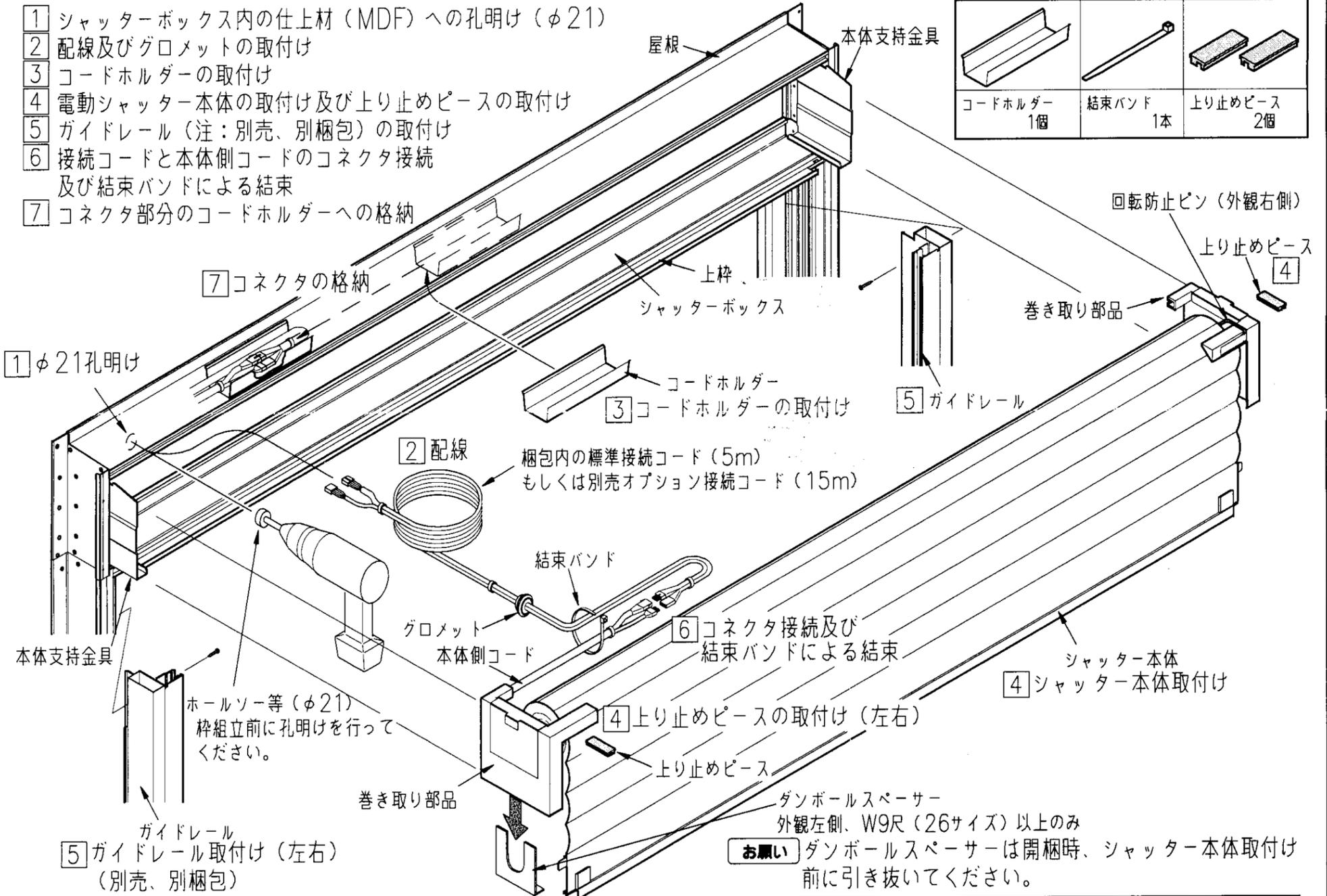
ガイドレール	ボックスカバー	枠	障子	網戸
壁スイッチ	リモコン（別売オプション）	接続コード15m（別売オプション）		

■ 取付け手順概要（各手順の詳細説明は別途）

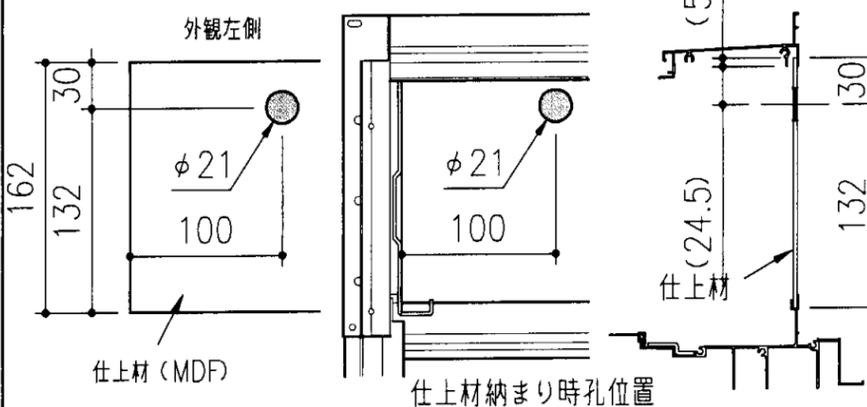
- お願い** 各手順の詳細説明を必ずご確認の上作業してください。
お願い 別売オプションの接続コード15mをご使用になる場合は、シャッター本体取付け前にご用意ください。
注意 不具合の原因になりますので接続コードは継ぎ足さないで下さい。

- 1 シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔明け（φ21）
- 2 配線及びグロメットの取付け
- 3 コードホルダーの取付け
- 4 電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け
- 5 ガイドレール（注：別売、別梱包）の取付け
- 6 接続コードと本体側コードのコンネクタ接続及び結束バンドによる結束
- 7 コンネクタ部分のコードホルダーへの格納

取付け部品セット内容明細		
コードホルダー 1個	結束バンド 1本	上り止めピース 2個



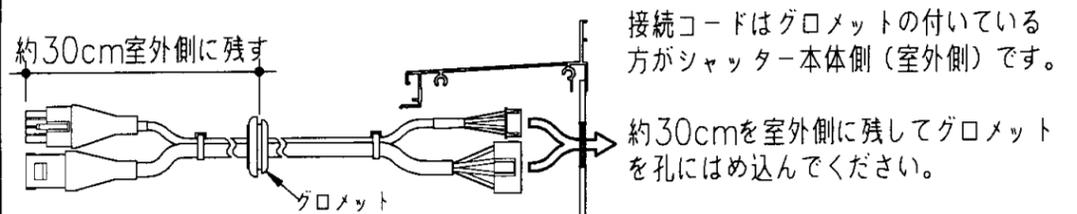
■ 手順1:シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔明け
 シャッターボックス内の仕上材に、下図に示す位置にφ21の孔を明けてください。



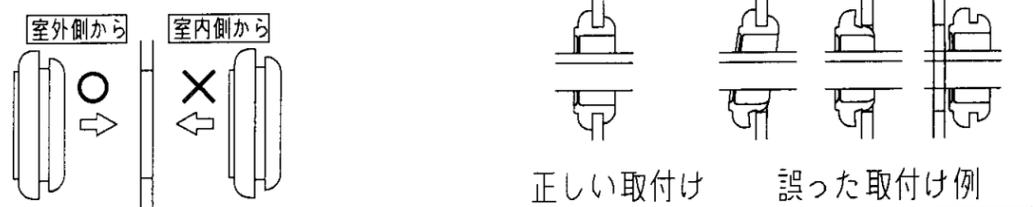
お願い グロメット取付けのための孔なので、孔明けはホールソー等を使用してきれいに明けてください。カッターナイフ等、きれいな丸円の明かない工具での孔明けはお止めください。

■ 手順2:配線及びグロメットの取付け

手順1で明けた孔に、接続コードを室外側から室内側に向かってコンネクタ部分から孔に挿入して行きます。



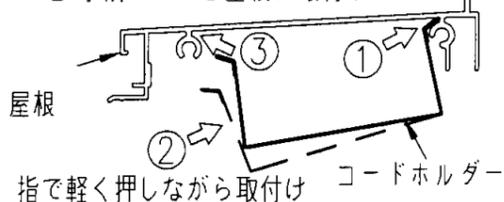
お願い グロメットには方向性が有ります。躯体への漏水を防ぐ確実な施工の為に、接続コードは必ず室外側から室内側に向かって挿入して、確実に孔にグロメットをはめ込んでください。



正しい取付け 誤った取付け例

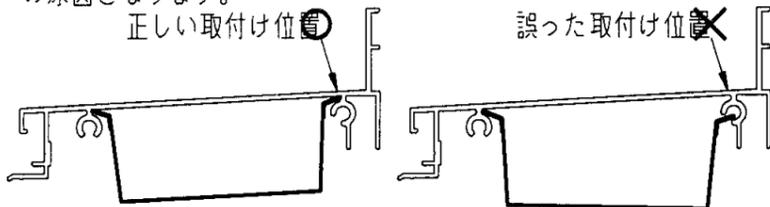
■ 手順3:コードホルダーの取付け

- ① 奥のつめを屋根にセット
- ② コードホルダーを指で軽く室内側に向かって軽く押しながら
- ③ 手前のつめを屋根に取付け

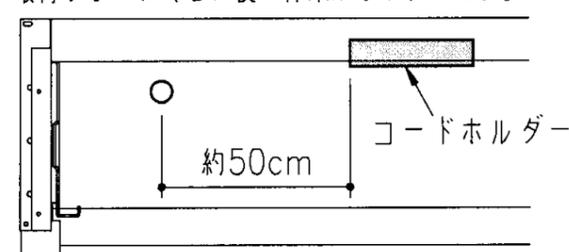


▲ 注意 コードホルダーの奥のつめは正しい位置に取付けしてください。(下図)

誤った位置に取り付けられますと、コードホルダーが脱落し、不具合の原因となります。



取付け後、コードホルダーをスライドさせて、接続コードの通し孔から約50cmのところに取付けしておくと、後の作業がしやすいです。

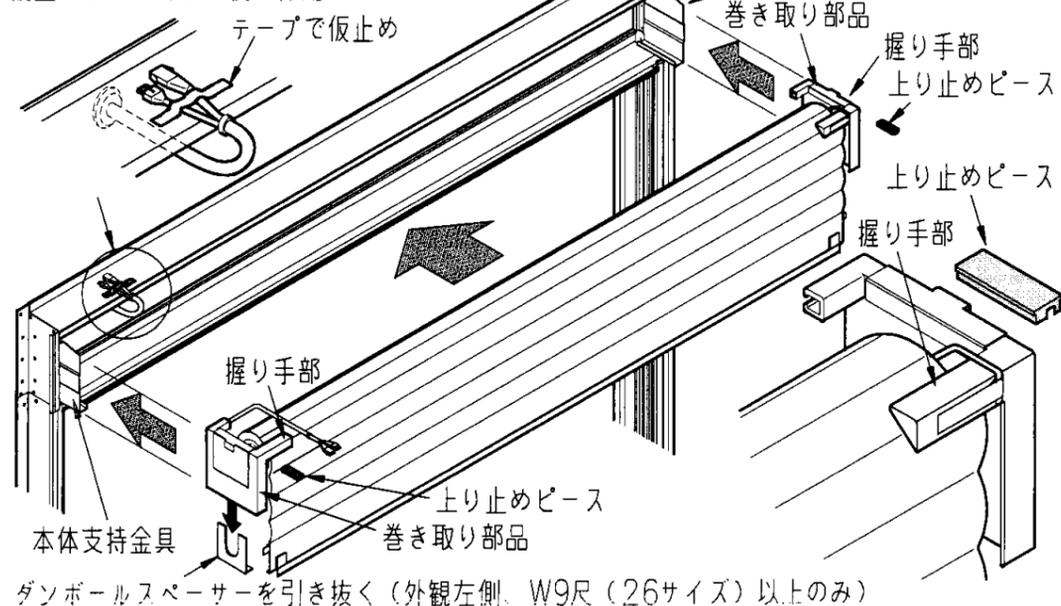


■ 手順4:電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け

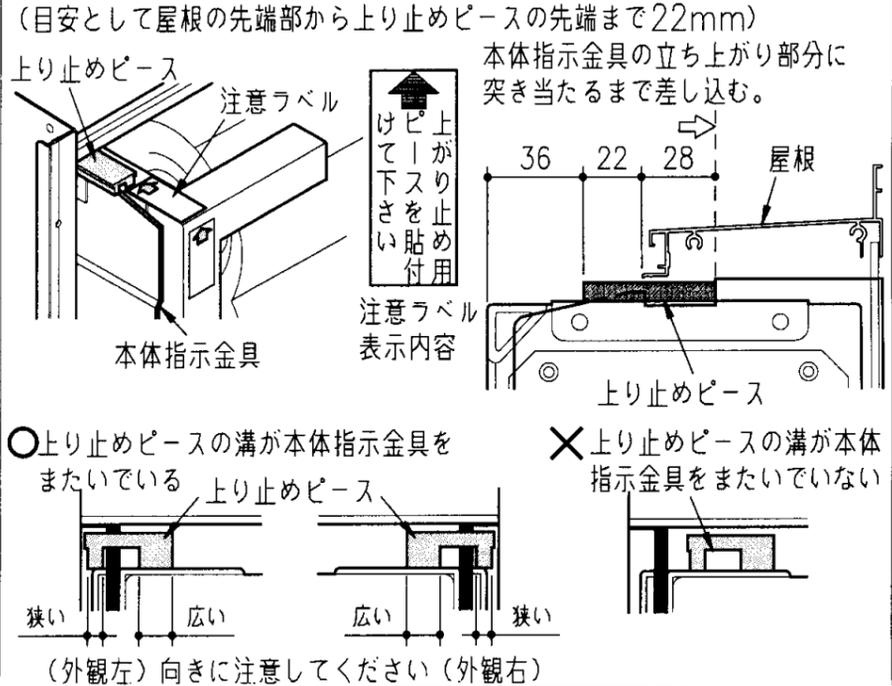
▲ 注意 開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

シャッター巻き取り部品の握り手部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。開梱時、シャッター取付け前に外観左側に有るダンボールスペーサーを引き抜いてください。下図の様に左・右の巻き取り部品を、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。

本体の取付け前に接続コードをテープで屋根の天面に仮止めしておくと、後の作用がしやすいです。

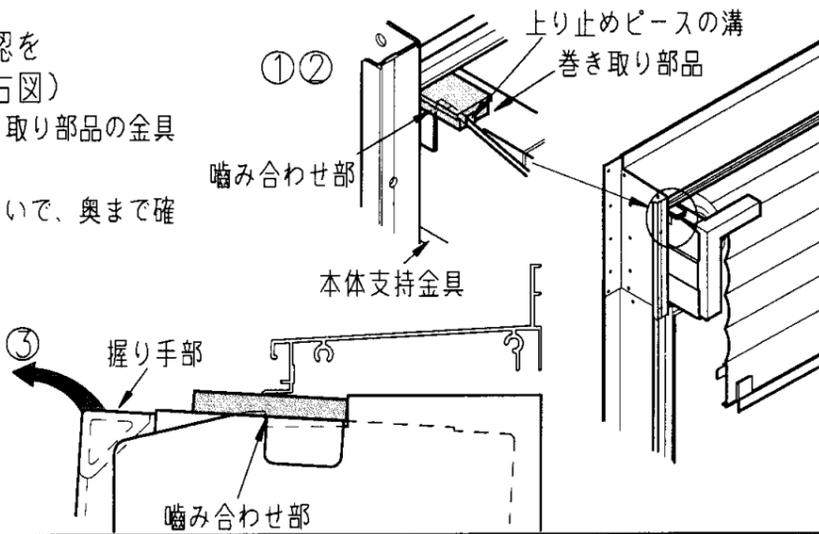


本体取付け後に、上り止めピースを左右巻き取り部品と屋根との隙間に取付けます。上り止めピースの離型紙をはがし、溝が本体指示金具をまたぐようにして、奥に突き当たるまで差し込みます。



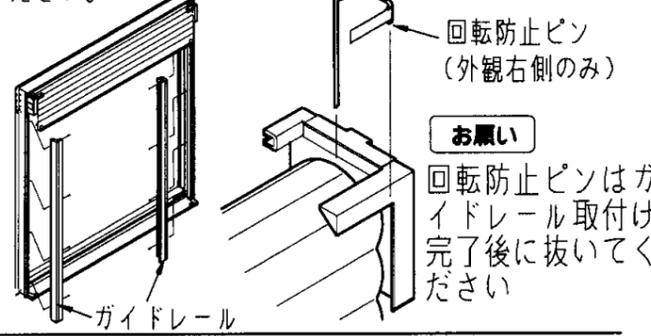
○ お願い 本体取付け後に以下の確認を必ず行ってください。(右図)

- ① 本体支持金具の上端切り欠き部と巻き取り部品の金具上端突起部が噛み合っていること。
- ② 上り止めピースが本体指示金具をまたいで、奥まで確実に差し込まれていること。
- ③ 巻き取り部品の握り手部を持ってシャッター本体を持ち上げて外そうとしても、本体指示金具との噛み合わせ部分を乗り越えられずに外せないこと。



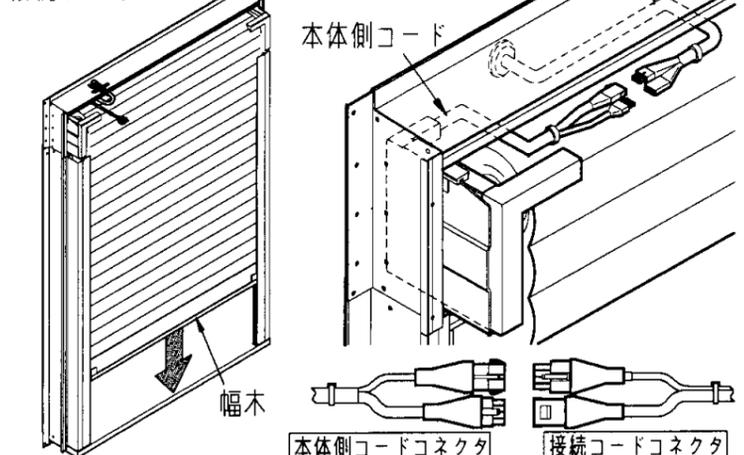
■ 手順5:ガイドレールの取付け

ガイドレールを取付けて回転防止ピンを抜いて下さい。ガイドレールの取付け方法は、ガイドレール梱包内の組立施工マニュアル(マニュアル番号MN-1286)を参照ください。



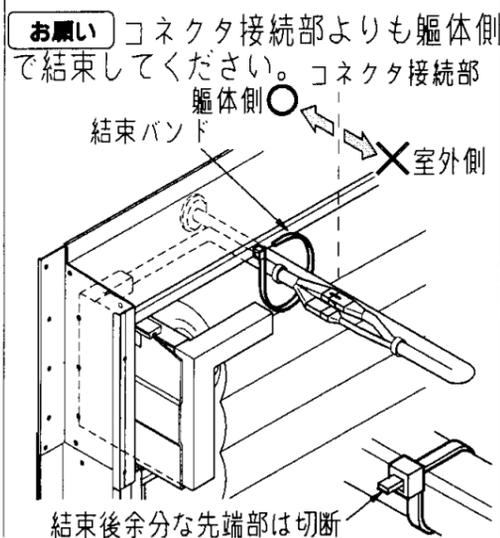
■ 手順6:接続コードと本体側のコネクタ接続及び結束バンドによる結束

幅木の中間部を持って手動でゆっくりとシャッターを下ろし、コネクタを接続できる作業スペースを確保します。本体側コードと接続コードのコネクタを接続してください。



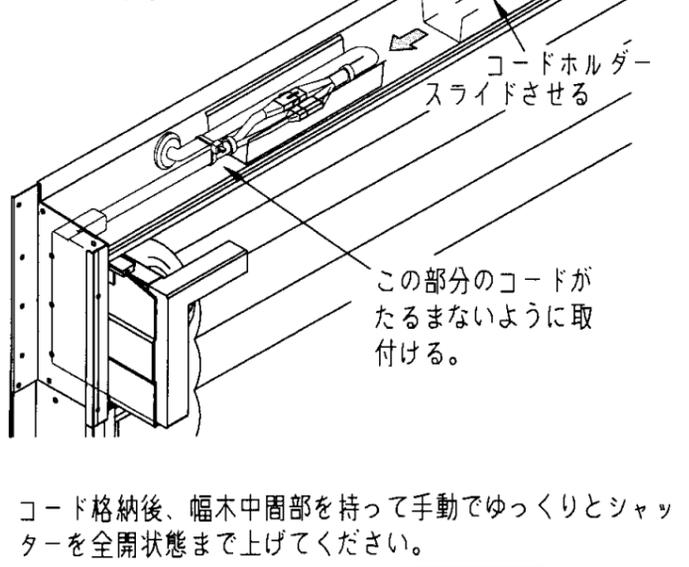
○ お願い コネクタのつめ部がしっかりと噛み合うように接続してください。

接続コードと本体側コードをまとめて付属の結束バンドにて結束します。結束後余分な結束バンドの先端部は切断してください。



■ 手順7:コネクタ部分のコードホルダーへの格納

手順3で取付けておいたコードホルダーをスライドさせてコネクタ部分を収めます。



以上で本体の取付けが完了です。ボックスカバー、壁スイッチを取付けて仮設電源にて作動確認(初期設定)を行ってください。
 *ボックスカバーの取付け方法はシェルムーン5型 ボックスカバー取付けマニュアル(マニュアル番号MN-1288)を参照してください。
 *作動確認(初期設定)の方法は、シェルムーン5型スチール電動タイプ 壁スイッチ取付け 電気工事マニュアル(マニュアル番号MN-1324)を参照してください。